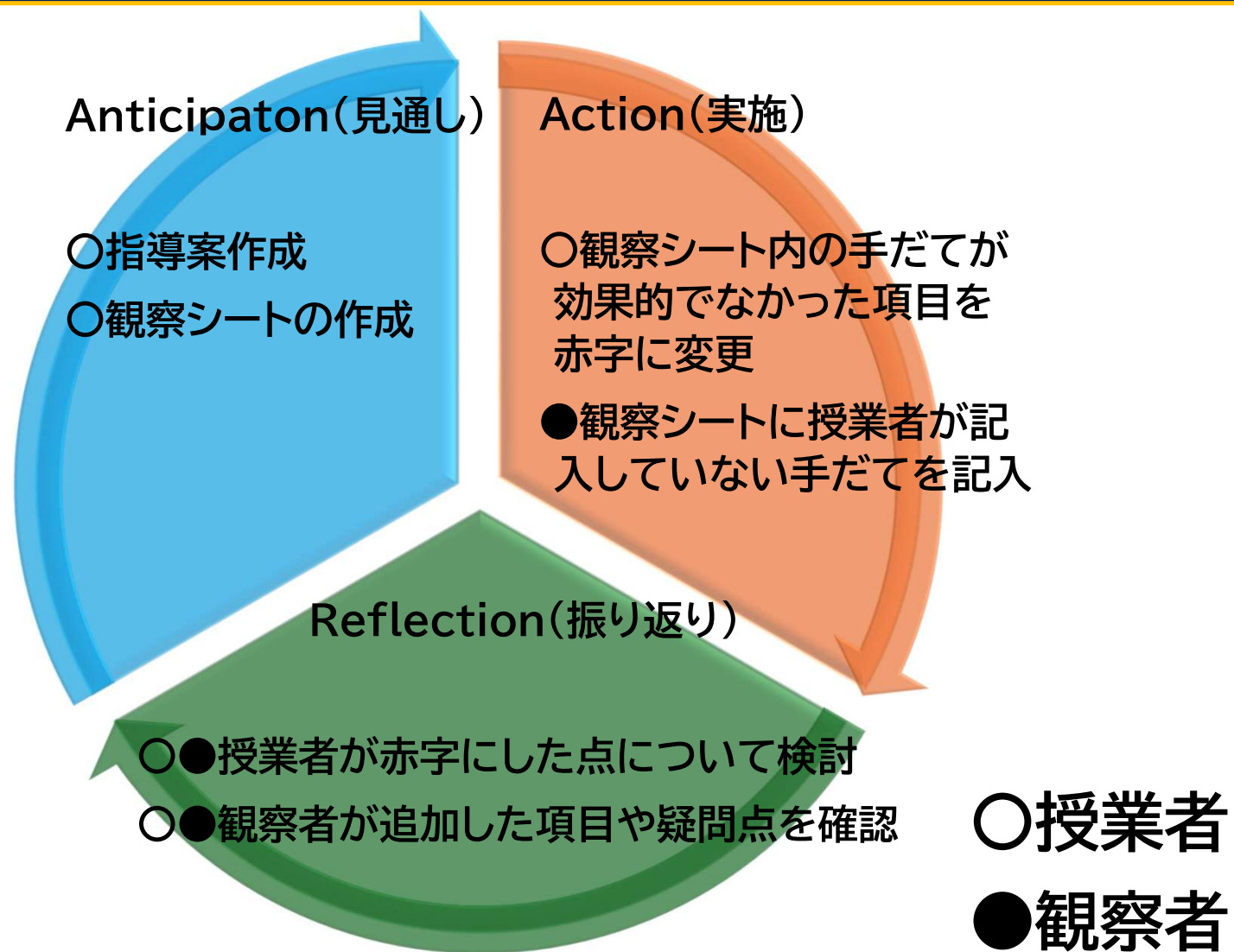


研究方法



研究方法

授業観察シート（○授業者用）

【グループテーマ】 児童・生徒が“やってみたい”“たのしい”“おもしろい”と思える環境づくり

(1)目標

・
・
・

(2)目標に対する手立て

教材・教具	環境整備	人との関わり
自立活動 6区分 27 項目のいづれにあたるのかを記入する。	自立活動 (例) 4 環境の把握 (2)	自立活動
手立て 具体的な手立てを記入する。	手立て (例) パーテンションを活用し、個別の空間をつくる。	手立て
自立活動 ひとつの手立てに対して、自立活動を記入する。複数ある場合には、欄を増やす。		自立活動
手立て		手立て
自立活動	自立活動	自立活動
手立て	手立て	手立て

授業観察シート（●観察者用）

【グループテーマ】 児童・生徒が“やってみたい”“たのしい”“おもしろい”と思える環境づくり

(1)目標

・
・
・

(2)目標に対する手立て

教材・教具	環境整備	人との関わり
自立活動 6区分 27 項目のいづれにあたるのかを記入する。	自立活動 (例) 4 環境の把握 (2)	自立活動
手立て 具体的な手立てを記入する。	手立て (例) パーテンションを活用し、個別の空間をつくる。	手立て
自立活動 ひとつの手立てに対して、自立活動を記入する。複数ある場合には、欄を増やす。		自立活動
手立て		手立て
自立活動	自立活動	自立活動
手立て	手立て	手立て

(3) 授業者に向けて

授業者や研究授業の内容に対して、率直な感想を記入する。

実践報告(小学部)

1 回目の授業

小3 研究授業 国語算数(サンドイッチを作ってみよう)

教材・教具	環境整備	人との関わり
	自立活動 2 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出に関すること。	自立活動 3 人間関係の形成 (1) 他者との関わりの基礎に関すること 6 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出に関すること
手立て 具体物の操作をする際は、やりたいことを教師が言語化し確認することでやり取りをする楽しさが感じられるようにする。		

2 回目の授業

教材・教具	環境整備	人との関わり
	自立活動 2 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出に関すること。	自立活動 2 心理的安定 (1) 情緒の安定に関すること。 3 人間関係の形成 (1) 他者との関わりの基礎に関すること 4 環境の把握 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること 6 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出に関すること
手立て 具体物の操作をする際は、やりたいことを教師が言語化し確認することでやり取りをする楽しさが感じられるようにする。		

教材	環境	人との関わり
		結果を褒める。

変更なし。	パーテーション追加	過程の取り組みを言語化した。
-------	-----------	----------------

児童が落ち着く、活動に自ら手を伸ばす姿勢が見られ、児童の主体的な活動を引き出すことができた。

実践報告(小学部)

1 回目の授業

小4 研究授業 音楽(たたいて ならそう)

教材・教具	環境整備	人との関わり
		自立活動 3 人間関係の形成 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。
		4 環境の把握 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。
手立て 音の始まりが分かりやすいように、マレットの構えの動作を見せながら言葉掛けをし、促してから始める。		



2 回目の授業

教材・教具	環境整備	人との関わり
自立活動 4 環境の把握 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。		自立活動 3 人間関係の形成 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 6 コミュニケーション (2) 言語の受容と表出に関すること。 3 人間関係の形成 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。
手立て マレットで叩いた音に興味をもてるように、児童の目の前で楽器を鳴らしてから選ぶ。		

教材	環境	人との関わり
		見本を見せる。 動作を言語化。



楽器を複数 用意する。	変化なし。	複数の楽器の音 を目の前で聴か せる。
----------------	-------	---------------------------



児童のマレットを使って音を鳴らしてみたいという気持ちを引き出し、自分から楽器を選んで、音を鳴らすことができた。

実践報告(中学部)

✓ 【区分 2：心理的な安定】（状況の理解と変化への対応）

- ・朝の会での視覚支援（イラスト・写真・文字）により、予定変更時の不安・抵抗が減少。
- ・新しい活動では、流れの提示＋実演＋伴走支援を繰り返すことで、自ら動き出せる場面が増えた。

✓ 【区分 3：人間関係の形成】（他者との関わりりの基礎）

- ・手をつなぐ・一緒に行く・称賛する関わりによって、活動の“初動”への安心感が高まり、教師の働きかけを受け止めやすくなった。

✓ 【区分 4：環境の把握】（感覚や認知特性への理解と対応）

- ・コーンやクラス表示を使った視覚支援で、整列が理解しやすくなり、目印なしでも整列できる生徒が増加。
- ・一部生徒には、友達に声をかけて案内する姿も見られ、社会的な広がり生まれた。

検証結果

学年、教科が違っても、単元または授業の目標を達成するための手立てに、自立活動の「2 心理的な安定」、「3 人間関係の形成」、「4 環境の把握」の3つの区分が共通して多く反映されていた。

まとめ

主体性を導くための授業づくりのポイント

目標に即した手立て

教材・教具

環境整備

人との関わり

支える

自立活動の指導

自立活動の6区分27項目を意識した手立て

主体性を導くための条件として、教材・教具、環境整備、人との関わりの3つの観点の中に、自立活動の6区分27項目を意識した手立てを設定する。

人との関わり

その中でも、**人が人を育てる意識**をもち、人との関わりを充実させることが重要!!

私たち教師に求められる資質・能力

- ・ 高い専門性
- ・ コミュニケーション能力と協調性
- ・ 実践を振り返り、改善していく省察力
- ・ 児童・生徒と深く関わり、人として向き合える力

主体的に学び続ける教師

子どもたちの主体的な姿を引き出せるはず!